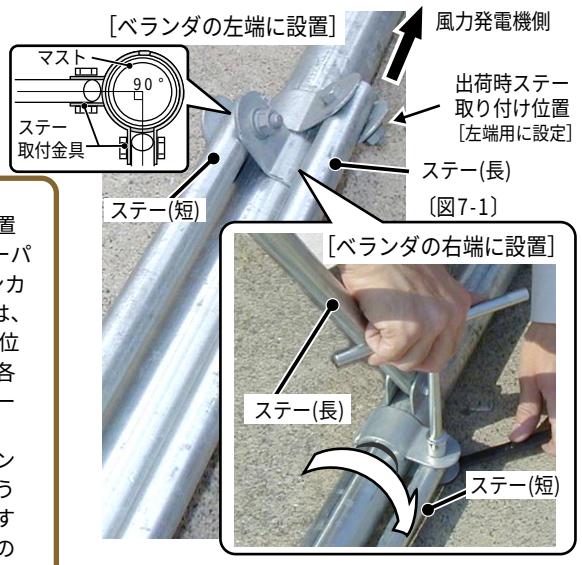
マストを取り付けよう

Step 7

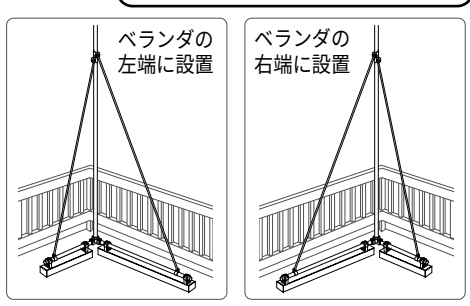
アンカーパイプ(短)とアンカーパイプ(長)にコーナークランプを取り付け、コーナークランプにマストを取り付けます。

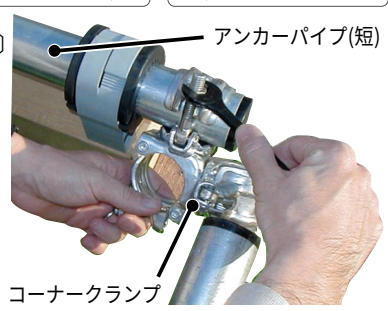


〔図7-1〕

マストを取り付ける前にステーの位置を確認します。ステー(短)はアンカーパイプ(短)に固定し、ステー(長)はアンカーパイプ(長)に固定します。ステーは、出荷時にマスト上端から840mmの位置に固定されており、この位置から各アンカーパイプの最適な位置にステーが固定される設計になっています。
出荷時のステー取り付け位置はベランダの内側からみて左端に設置するように設定されております。右端に設置する場合は、マストに対する各ステーの取り付け方向が逆になります。この場合はステー取付金具のボルトをゆるめ、マストの周りを180°回転させてから、再度固定します。(図7-1参照)

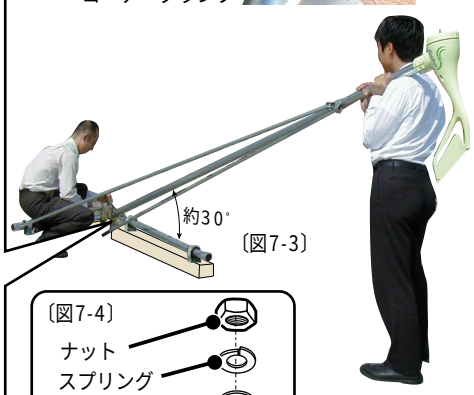
1 コーナークランプをアンカーパイプ(短)に取り付け、先端が1cm程度突き出た位置で、ナットでしっかり固定します。(図7-2参照)





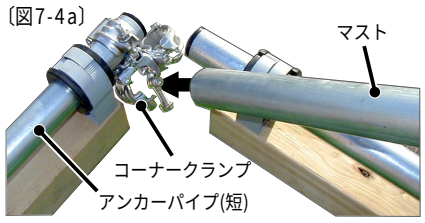
〔図7-2〕

2 風力発電機を地面から30°程持ち上げて支えます(人が支えるか、140cm程度の安定した台(脚立など)に風力発電機を固定してください)。(図7-3参照)

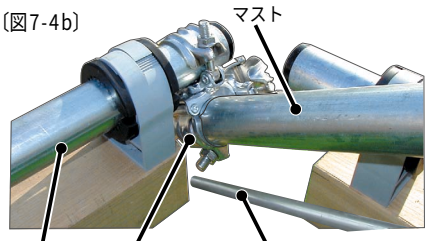


〔図7-3〕

〔図7-4a〕



〔図7-4b〕

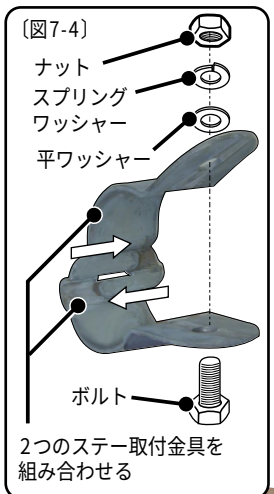


3 コーナークランプをアンカーパイプ(短)ごと回し、マスト取り付け用開口部を約30°程度アンカーパイプ(長)側に向けておきます。(図7-4a参照)

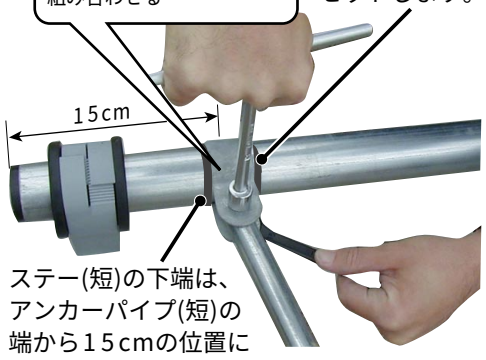
4 マストをコーナークランプに取り付け、マストの下端がコーナークランプから1cm程出た位置でナットでしっかり固定します。(図7-4b参照)

5 アンカーパイプ(短)の端から15cmの位置に滑り止めラバーをセットし、2個のステー取付金具を組み合わせてアンカーパイプ(短)にセットして、図7-4のようにしっかり固定します。(図7-5参照)

〔図7-4〕



ステーの下端を固定する際、ステー固定金具とアンカーの間に滑り止めラバーをセットします。



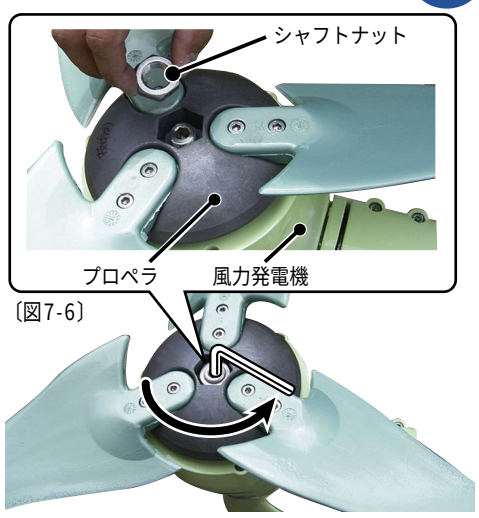
6 プロペラを風力発電機のシャフトに慎重にセットします。(図7-6参照)

7 シャフトに5/8インチのシャフトナットをセットします。(図7-6参照)

8 付属の六角レンチ(大)をシャフトの先端に差し込み、プロペラを押さえながら六角レンチを反時計方向に回し、堅く締めます。(図7-6参照)

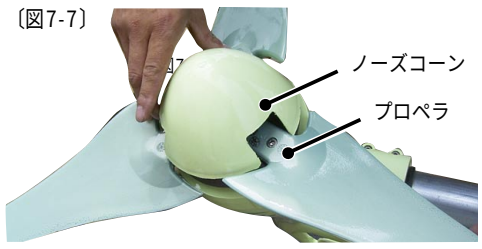
⚠ 警 告

プロペラの取り付け作業の前に、風力発電機のケーブルがショートピンによりショートされていることを確認してください。作業中に風が吹いてプロペラが回転すると思わぬケガの原因になり、大変危険です。



〔図7-6〕

〔図7-7〕



9 プロペラに合わせてノーズコーンを装着します。ノーズコーンはカチッと音がするまで押し込んでください。(図7-7参照)
※ノーズコーンは強く叩かないでください。

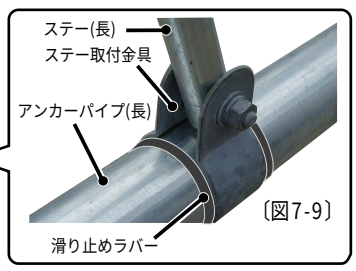
10 支えていたマストを垂直に立て、コーナークランプに仮止めしてあったアンカーパイプ(長)を差し込み、1cm突き出た位置でコーナークランプで固定します。(図7-8参照)

マストは、手を放すと倒れますので、必ず人が支えるか、ロープで固定するなどしてから作業を行ってください。

〔図7-8〕

11 アンカーパイプ(長)を2つのホルダーに強く押し込み、完全に固定させます。

12 滑り止めラバーをアンカーパイプの端から17.5cmにセットし、ステー取付金具を組み合わせてアンカーパイプ(長)にセットして、ステー(長)のネジ穴と合わせてボルトを差し込みます。反対側から平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順に装着し、しっかり固定します。(図7-9および図7-4参照)



〔図7-9〕

ステー(長)の下端は、アンカーパイプ(長)の端から17.5cmで固定してください。
※マストが地面と垂直になるようにステー(長)の固定位置で微調整してください。(図7-9参照)

太陽電池モジュールを取り付けよう

Step 8

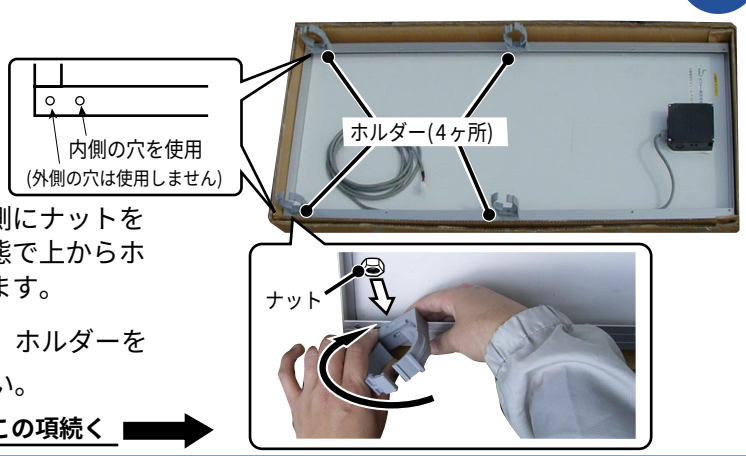
マストに太陽電池モジュールを取り付けます。

- 太陽電池モジュールの取り付け作業は、マストに太陽電池モジュールを取り付けるまで、梱包されていたカートンケースの中で行ってください。太陽電池モジュールの表面を下にして地面に置いたりすると、表面に傷がつく場合があります。

重 要

太陽電池モジュールは、日照時間が長く、影のかかりにくい向きに設置してください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

1 太陽電池モジュールの裏側には、ホルダー取付穴が6ヶ所ありますので、右図の4ヶ所にホルダーを取り付けます。
ホルダー取付穴に合わせて裏側にナットをセットし、ナットを押えた状態で上からホルダー取付ボルトをねじ込みます。



2 ホルダーが回らなくなったら、ホルダーを図の向きにセットしてください。

この項続く